

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月24日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 両毛システムズ
 コード番号 9691 URL <http://www.ryomo.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 管理統括部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月8日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 秋山 力
 (氏名) 上山 和則

TEL 0277-53-3131

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	6,403	△1.1	△518	—	△508	—	△207	—
23年3月期第3四半期	6,476	1.1	△160	—	△124	—	△86	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △226百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 △95百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	△59.27	—
23年3月期第3四半期	△24.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	10,934	7,389	67.2
23年3月期	10,256	7,609	73.7

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 7,343百万円 23年3月期 7,560百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,175	4.9	29	△82.9	54	△75.3	28	△62.2	8.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	3,510,000 株	23年3月期	3,510,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	11,035 株	23年3月期	11,035 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	3,498,965 株	23年3月期3Q	3,498,992 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等の様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要等により製造業を中心として緩やかな回復傾向も見られましたが、設備投資の回復までには至っておらず、海外景気の下振れ懸念、為替相場の高止まりや電力供給の制約等、景気の先行きは依然として不透明な状況と見受けられます。

情報サービス業界におきましては、東日本大震災の影響もあり災害対応や事業継続関連ビジネスに持ち直しの傾向も見られましたが、ソフトウェア等に対する企業の設備投資は横ばいの状況にあり、引き続き厳しい状況が続くものと予想されます。

このような状況の中、当社ではガス、製造業、文教市場向けビジネスがそれぞれ堅調に推移いたしました。その結果、売上高は6,403百万円（前年同期は6,476百万円）となりました。

利益面においては、引続き経費削減を進めましたが、システム開発案件の一部稼動延期等により営業利益は△518百万円（前年同期は△160百万円）、経常利益は△508百万円（前年同期は△124百万円）、当四半期純利益は△207百万円（前年同期は△86百万円）となりました。

セグメントごとの業績を示すと、次のとおりです。

（公共事業セグメント）

公共事業セグメントでは、機器販売やソフトウェアプロダクト販売が堅調に推移いたしました。主に受託計算サービスが減少したこと等により、売上高は3,365百万円（前年同期は3,498百万円）、セグメント利益は、△75百万円（前年同期は462百万円）となりました。

（民間事業セグメント）

民間事業セグメントでは、コンサルティングサービス、データセンターを利用した運用サービスが堅調に推移した結果、売上高は3,038百万円（前年同期は2,977百万円）、セグメント利益は166百万円（前年同期は130百万円）となりました。

なお、第1四半期連結累計期間より、当社子会社である㈱両毛データセンターについて、重要性が増したため連結の範囲に含めております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 財政状態に関する分析

（流動資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は5,375百万円となり、前連結会計年度末に比べ794百万円の増加となりました。これは主に、短期借入金の返済や無形固定資産の開発投資等の減少要因がありましたが、長期借入金の調達等の増加によるものであります。

（固定資産）

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は5,558百万円となり、前連結会計年度末に比べ117百万円の減少となりました。これは主に、開発投資によりソフトウェア仮勘定が増加しましたが、投資有価証券の一部を流動資産に振替えた事等によるものであります。

（流動負債）

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は1,723百万円となり、前連結会計年度末に比べ73百万円の減少となりました。これは主に、短期借入金が増加した事等によるものであります。

（固定負債）

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は1,820百万円となり、前連結会計年度末に比べ970百万円の増加となりました。これは主に、長期借入金が増加した事等によるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は7,389百万円となり、前連結会計年度末に比べ219百万円の減少となりました。これは主に、四半期純利益が△207百万円となったことにより利益剰余金が減少した事等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ801百万円増加し、また、第1四半期連結累計期間より、㈱両毛データセンターについて、重要性が増したため連結の範囲に含めた事に伴い、資金が70百万円増加し1,354百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、たな卸資産の増加及び税金等調整前四半期純利益の減少等の減少要因がりましたが、売上債権の回収や無形固定資産償却費の増加等の増加要因により539百万円の収入（前年同期比425百万円の支出）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、開発投資による無形固定資産の増加等により407百万円（前年同期比△417百万円）の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の返済がありましたが、長期借入れによる収入等により669百万円（前年同期比+622百万円）の収入となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月通期の業績予想につきましては、現時点においては修正はありません。

しかしながら、販売活動における納入時期の延期等が連結業績予想に与える影響について現在精査中であり、開示基準には該当しないものと考えておりますが、開示基準に該当することが明らかになった場合は速やかにお知らせいたします。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。なお、「法人税等調整額」は、「法人税等」に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	663,759	713,212
受取手形及び売掛金	1,929,407	835,973
有価証券	256,719	400,198
たな卸資産	421,118	1,103,891
その他	1,309,876	2,322,422
貸倒引当金	△376	△409
流動資産合計	4,580,505	5,375,288
固定資産		
有形固定資産	878,200	970,810
無形固定資産		
ソフトウェア	2,851,248	2,570,009
ソフトウェア仮勘定	87,907	594,298
その他	158,139	157,945
無形固定資産合計	3,097,294	3,322,253
投資その他の資産	1,700,609	1,265,814
固定資産合計	5,676,105	5,558,877
資産合計	10,256,610	10,934,166
負債の部		
流動負債		
買掛金	547,923	440,906
短期借入金	280,000	—
未払法人税等	16,077	14,997
賞与引当金	210,692	217,072
受注損失引当金	47,144	121,340
その他	695,606	929,606
流動負債合計	1,797,444	1,723,923
固定負債		
長期借入金	—	884,200
その他	849,596	936,079
固定負債合計	849,596	1,820,279
負債合計	2,647,041	3,544,203
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,966,900	1,966,900
資本剰余金	2,453,650	2,453,650
利益剰余金	3,161,500	2,962,172
自己株式	△8,513	△8,513
株主資本合計	7,573,536	7,374,209
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△12,624	△31,143
その他の包括利益累計額合計	△12,624	△31,143
少数株主持分	48,656	46,897
純資産合計	7,609,568	7,389,963
負債純資産合計	10,256,610	10,934,166

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	6,476,359	6,403,970
売上原価	5,208,600	5,659,257
売上総利益	1,267,758	744,712
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	629,498	605,823
賞与引当金繰入額	60,888	99,478
その他	737,973	558,206
販売費及び一般管理費合計	1,428,360	1,263,508
営業利益又は営業損失(△)	△160,602	△518,795
営業外収益		
受取利息	14,169	7,967
受取配当金	7,667	7,573
受取賃貸料	147,950	8,952
その他	19,366	25,202
営業外収益合計	189,154	49,695
営業外費用		
支払利息	685	3,727
賃貸収入原価	141,302	3,628
その他	11,280	31,615
営業外費用合計	153,268	38,971
経常利益又は経常損失(△)	△124,716	△508,071
特別利益		
固定資産売却益	81	120
その他	0	—
特別利益合計	81	120
特別損失		
固定資産売却損	521	183
固定資産除却損	855	2,740
投資有価証券評価損	17,727	—
過年度損益修正損	7,652	—
特別損失合計	26,756	2,924
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△151,391	△510,875
法人税等	△67,381	△303,164
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△84,009	△207,711
少数株主利益又は少数株主損失(△)	2,259	△333
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△86,269	△207,378

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 (△)	△84,009	△207,711
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11,892	△18,518
その他の包括利益合計	△11,892	△18,518
四半期包括利益	△95,902	△226,230
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△98,161	△225,897
少数株主に係る四半期包括利益	2,259	△333

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△151,391	△510,875
減価償却費	98,548	117,650
無形固定資産償却費	54,921	486,275
前払年金費用の増減額(△は増加)	68,235	57,896
賞与引当金の増減額(△は減少)	△77,222	△6,021
受注損失引当金の増減額(△は減少)	7,214	74,196
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△275	△295
受取利息及び受取配当金	△21,836	△15,540
投資有価証券評価損益(△は益)	17,727	—
支払利息	685	3,727
為替差損益(△は益)	△76	81
固定資産売却損益(△は益)	439	63
固定資産除却損	855	2,740
売上債権の増減額(△は増加)	759,089	1,054,038
たな卸資産の増減額(△は増加)	△442,783	△682,772
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△311,320	△6,773
仕入債務の増減額(△は減少)	△472,105	△170,479
未払費用の増減額(△は減少)	△9,112	4,302
その他の流動負債の増減額(△は減少)	162,009	86,628
その他の固定負債の増減額(△は減少)	151,740	30,929
小計	△164,659	525,771
利息及び配当金の受取額	25,348	18,257
利息の支払額	△753	△5,370
法人税等の支払額	△285,333	649
営業活動によるキャッシュ・フロー	△425,398	539,307
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△180,000	△170,000
定期預金の払戻による収入	180,000	172,000
有価証券の取得による支出	△16,007	—
有価証券の売却による収入	300,000	256,000
投資有価証券の取得による支出	△108	△4,611
投資有価証券の売却による収入	—	70,000
投資その他の資産の増減額(△は増加)	15,411	10,395
有形固定資産の取得による支出	△91,065	△41,748
無形固定資産の取得による支出	△1,032,791	△699,443
投資活動によるキャッシュ・フロー	△824,560	△407,407
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	120,000	△280,000
長期借入れによる収入	—	1,000,000
リース債務の返済による支出	—	△6,892
自己株式の取得による支出	△36	—
配当金の支払額	△69,980	△41,987
少数株主への配当金の支払額	△3,048	△1,248
財務活動によるキャッシュ・フロー	46,935	669,871
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,203,024	801,771
現金及び現金同等物の期首残高	1,813,790	482,714
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	70,103
現金及び現金同等物の四半期末残高	610,766	1,354,590

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

- (5) セグメント情報等
(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	公共事業	民間事業			
売上高					
外部顧客への売上高	3,499,507	2,976,851	6,476,359	—	6,476,359
セグメント間の内部売上高 又は振替高	△1,138	1,138	—	—	—
計	3,498,368	2,977,990	6,476,359	—	6,476,359
セグメント利益	462,176	130,146	592,322	△752,924	△160,602

(注) 1 セグメント利益の調整額△752,924千円には、各報告セグメントに配分していない製造補助部門費△136,410千円及び全社費用△616,514千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	公共事業	民間事業			
売上高					
外部顧客への売上高	3,365,377	3,038,592	6,403,970	—	6,403,970
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,365,377	3,038,592	6,403,970	—	6,403,970
セグメント利益又は損失(△)	△75,492	166,851	91,358	△610,154	△518,795

(注) 1 セグメント利益の調整額△610,154千円には、各報告セグメントに配分していない製造補助部門費△190,958千円及び全社費用△419,195千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。